第54回全日本総合選手権大会

男子はホンダが4年ぶり3回目の優勝
女子は広島メイプルレッズが4年連続5回目の優勝

第54回全日本総合選手権大会は、12月10日(火)より14日(土)まで、愛知県名古屋市の枇杷島スポーツセンターと中村スポーツセンターで行われた。

新方式のトーナメントで行われた今大会は、好ゲームが期待された。男子1回戦では4試合とも接戦となり、1回戦から目の離せない展開となった。女子では日本リーグ勢と大学勢の力が勝り、残念ながら大味な展開となった。

男子では、大学チャンピオンの日体大が期待されたが、日本リーグ1部の壁は崩せなかった。女子も同様に大学勢が期待されたが、大学チャンピオンの筑波大がオムロンに3点さと詰め寄るに留まった。

4強は男女ともに、日本リーグの上位チームが占めた。

決勝は、男子がホンダ対湧永製薬、女子は3年連続の広島メイプルレッズ対オムロンの対戦となった。男子はホンダがストックランの12得点の活躍と、手堅い守りで4年ぶり3回目の優勝を飾った。一方、女子は広島メイプルレッズがGK浅井の活躍でイズミ時代を通して4年連続5回目の優勝を飾った。

男子の部

【3回戦】

ホンダ 37 (20－10 / 17－14) 24 HC東京

［戦評］優勝候補の一角ホンダに学生王者日体大を下したHC東京が挑む。開始早々ホンダの速攻が火を噴き一気に4点のアドバンテージを奪う。茅場、クリチェンコらが得点を重ねるホンダに対し、HC東京も飯島、小野らが数少ないチャンスを確実に得点に結びつけるしたたかさを見せた。しかし、ホンダDFの壁は堅牢にして10点差で前半を終える。

後半に入り、佐々木、鶴見らにより得点を重ねるホンダに対し、HC東京も3－2－1DFの運動量をさらに増し、一歩たりとも退く構えを見せない。10分過ぎの茅場の退場あたりから、ホンダの攻守にスキが生じ始めると、すかさず五島、飯野らが牙を剝く。しかし、鈴鹿の峰は険峻にして、東京の挑戦を阻んだ。　(清水　諭)

ホンダ：鶴見＝9点、佐々木＝7点、広政＝4点、谷口＝3点、野嶋＝3点、クリチェンコ＝3点、羽賀＝2点、茅場＝2点、斎藤＝2点、池辺＝1点、鈴木＝1点

HC東京：小野＝5点、須藤＝4点、五島＝4点、西村＝3点、木村＝2点、飯野＝2点、佐々木＝2点、飯島＝1点、佐藤＝1点

大同特殊鋼 24 (10－7 / 14－10) 17 ホンダ熊本

［戦評］ゲーム開始後、両チームとも動きに固さが見られ、開始1分に大同特殊鋼朴がロングシュートを決めるが、その後両チームGKの好守もあり、10分を経過しホンダ熊本が速攻で1点を返すにとどまり、ロースコアの展開となった。しかし、大同特殊鋼はGK高木の再三にわたるファインセーブと松林のサイドシュート、藤井のポストなどで、18分に6－1とリードを広げた。ホンダ熊本はチームタイムアウト後、大同特殊鋼朴に対しマンツーマンディフェンスを仕掛けて、攻撃のリズムを断とうとするが、大同特殊鋼の出足の良いディフェンスを崩すことが出来ず、10－7と3点差で前半を終える。

後半開始より、ホンダ熊本に退場者が出た間に大同特殊鋼はスカイプレー、ポストで連取し点差を再び5点とした。

その後ＧＫ高木を軸とした堅いディフェンスでリードを守ったが、中盤意地を見せるホンダ熊本がジザ、クジノフで得点し、残り10分で３点差と肉薄する。しかし、最後は両外国人を中心に攻めざるを得ないホンダ熊本に対し、攻守にリズム良く展開を繰り広げた大同特殊鋼が終盤の４連続得点でホンダ熊本を突き放し24－17で勝利を収めた。

（渡辺貞彦）

大同特殊鋼：朴＝９点、藤井＝４点、松林＝３点、大田＝３点、富本＝２点、中谷＝２点、峯村＝１点

ホンダ熊本：クジノフ＝６点、田中＝３点、宮城＝２点、ジザ＝２点、米満＝１点、間島＝１点、佐伯＝１点、松岡＝１点

大　崎　電　気　30（13－5 / 17－7）12　ト　ヨ　タ　車　体

［戦評］大崎電気の３連取で試合が始まった。トヨタ車体もチームを波に乗せるべく北出が速攻で一人気を吐くが、大崎電気の堅い守りの前に連取が出来ない。トヨタ車体は前半ラスト５分で大崎電気のエース岩本にマンツーマンディフェンスを試みるが効果なく、前半は13－５の大崎電気リードで折り返した。

後半はトヨタ車体が５人からスタートしたことに乗って、大崎電気が４連取で一気に突き放した。前半終盤間際から続くラフプレーによって両チームとも退場者が続出する展開でも、大崎電気は着実に得点を重ねていった。後半中盤に大崎電気がメンバーチェンジしてゲームが一時落ち着いたが、劣勢になることはなく、ディフェンスから速攻や、ダブルポストへの展開によって一度もトヨタ車体ペースにさせることはなかった。結局堅い守りでトヨタ車体に一度も連取を許さなかった大崎電気が30－12で勝利を収めた。

大崎電気：森本＝５点、東＝５点、近藤＝５点、豊田＝３点、太田＝３点、中川＝２点、岩本＝２点、辻＝２点、加藤＝１点、佐藤＝１点、小林＝１点

トヨタ車体：宮地＝３点、北出＝３点、加藤＝３点、角谷＝１点、竹下＝１点、長谷川＝１点

湧　永　製　薬　37（19－9 / 18－15）24　ア　ラ　コ　九　州

［戦評］長身のチョレイを怪我で欠くアラコ九州が圧倒的な高さを誇る湧永製薬と対峙する。両者ともＧＫの活躍が目立つ序盤であったが、アラコ九州が素早いリスタートで相手を休ませない急戦を開始、疾風怒涛の攻撃が湧永を襲う。しかし、湧永製薬の陣幕を切り裂く九州の銘刀も次第に刃こぼれをきたし、点差が広がり始める。すると湧永製薬のシグルドソン、ブラマニスをベンチに下げ急戦で応戦。アントルを切込隊長とするアラコ九州に対し、小兵の森山がアラコＤＦを翻弄し、中山、杉山らベテランが打ち砕く。戦況は一転消耗戦の様相を呈する。結果、湧永製薬が大差で勝利を収めるが、燗柯の一戦であった。　（清水　諭）

湧永製薬：東＝７点、中山＝６点、加川＝５点、吉家＝５点、浜本＝４点、小沢＝４点、山口＝３点、小薮＝１点、森山＝１点、杉山＝１点

アラコ九州：アントル＝７点、村上＝５点、田中＝５点、鶴田＝４点、阪＝２点、高山＝１点

【準決勝】

ホ　　ン　　ダ　24（13－6 / 11－11）17　大　同　特　殊　鋼

［戦評］立ち上がり早々ホンダが速攻で２連取。大同特殊鋼も朴のミドルなどで応戦するが、ホンダの厚いディフェンスに阻まれ攻撃がかみ合わない。その間にホンダは池辺のポストなどで確実に得点し13－６とホンダリードで前半を折り返した。

後半に入ると、お互いに得点が伸びず苦しい展開となる

が、チャンスを確実に得点に結びつけたホンダが逃げ切り決勝進出を決めた。（桧崎　潔）

ホ　ン　ダ：茅場＝５点、佐々木＝３点、ストックラン＝３点、池辺＝２点、鶴見＝２点、斎藤＝２点、谷口＝２点、羽賀＝１点、広政＝１点、鈴木＝１点、野嶋＝１点、クリチェンコ＝１点

大同特殊鋼：朴＝６点、松林＝４点、峯村＝２点、藤井＝２点、大田＝２点、中谷＝１点

湧　永　製　薬　33（16－16／17－12）28　大　崎　電　気

［戦評］湧永製薬のスローオフで試合が開始されると、序盤は一進一退の展開。次第に湧永製薬ＧＫ坪根が大崎電気ＯＦを捉え始め９－５となった所で、大崎電気がタイムアウトを要求。それが功を奏し、面白いようにポスト東にパスを通し始める。一方、湧永製薬もブラマニスが目を覚ます。遂に27分豊田により大崎電気が逆転に成功するも、シグルドソンの鮮やかなパスカットからの得点により湧永製薬が同点に戻して前半終了。

後半早々、湧永製薬は前半５点と活躍の下川を怪我で欠くアクシデント。辻らの得点でリードした大崎電気を湧永製薬が追う展開に。しかし、10分に負傷から復帰した下川の得点を境に、ブラマニス砲が吼えわたる。20分に湧永製薬はシグルドソンを失格で失うが、大崎電気には焦燥感という新たな敵が登場し、ＤＦシステムが崩壊し６点差をつけて湧永製薬が勝利した。

湧 永 製 薬：ブラマニス＝13点、下川＝６点、山口＝６点、中山＝３点、シグルドソン＝２点、浜本＝１点、小薮＝１点、森山＝１点

大 崎 電 気：東＝７点、中川＝６点、豊田＝４点、森本＝３点、辻＝３点、近藤＝２点、加藤＝１点、佐藤＝１点、岩本＝１点



【決　勝】

ホ　ン　ダ　34（17－15／17－14）29　湧　永　製　薬

［戦評］優勝の決意を胸に秘めた両チームが立つコートに試合開始の笛が響く。谷口、ストックランによりホンダがリードを奪う。湧永製薬もすかさず反撃に転じ、小沢の連取により同点とする。ここからホンダのストックランが獅子奮迅の働きを見せる。一時は５点差をつけられる湧永製薬であったが、小沢、ブラマニスらの活躍によって２点差の17－15で前半を終えた。

後半に入ってもホンダの勢いは衰えを見せず、湧永製薬ＤＦに襲いかかる。湧永製薬もブラマニス、小沢に続きシグルドソンが調子を取り戻し、白熱したゲームが展開される。27分に続けて２名の退場者をホンダが出し、危急存亡の秋を迎えるが、ＧＫ四方の好セーブなどに助けられる。

湧永製薬はオールコートＤＦで乾坤一擲勝負に出るが、ホンダが逃げ切り、栄冠に輝いた。　　　（清水　諭）

ホ　ン　ダ：ストックラン＝12点、広政＝６点、谷口＝５点、クリチェンコ＝４点、池辺＝３点、茅場＝３点、羽賀＝１点

湧永製薬：ブラマニス＝９点、小沢＝８点、シグルドソン＝７点、下川＝３点、森山＝１点、山口＝１点



【最終順位】

優　勝　ホンダ
準優勝　湧永製薬
第３位　大同特殊鋼
第３位　大崎電気

【個人表彰】

最優秀選手賞　谷口　了（ホンダ）
最優秀監督賞　橋本行弘（ホンダ）

■男子勝ち上がり表

1 ホンダ
2 北陸電力
3 日本体育大学
4 ＨＣ東京
5 ホンダ熊本
6 香川クラブ
7 インテックス21
8 大同特殊鋼
9 大崎電気
10 筑波大学
11 ＨＣ岡山
12 トヨタ車体
13 アラコ九州
14 豊田合成
15 大同クラブ
16 湧永製薬

1回戦	北陸電力	29	33	日本体育大学
1回戦	香川クラブ	31	29	インテックス21
1回戦	筑波大学	29	30	ＨＣ岡山
1回戦	豊田合成	22	29	大同クラブ
2回戦	日本体育大学	30	31	ＨＣ東京
2回戦	ホンダ熊本	25	19	香川クラブ
2回戦	ＨＣ岡山	17	35	トヨタ車体
2回戦	アラコ九州	32	22	大同クラブ
準々決勝	ホンダ	37	24	ＨＣ東京
準々決勝	ホンダ熊本	17	24	大同特殊鋼
準々決勝	大崎電気	30	12	トヨタ車体
準々決勝	アラコ九州	24	37	湧永製薬
準決勝	ホンダ	24	17	大同特殊鋼
準決勝	大崎電気	28	33	湧永製薬
決勝	ホンダ	34	29	湧永製薬

優勝　ホンダ

女子の部

【2回戦】

広島メイプルレッズ	25	16－6 9－9	15 東京女子体育大学

［戦評］前半東女体大のスローオフで試合開始。前半の立ち上がり東女体大の固さが目立ち、攻撃ではパスミスなどが多く、広島メイプルレッズは杉本の速攻などで得点を重ねた。また、東女体大は守りでもリズムが作れず、広島メイプルレッズは呉を起点に巧みなパス回しから石山のポストプレーなどにより前半12分までで９－１と大きくリードした。一方、東女体大はＧＫ小松の好セーブもあり、前半15分過ぎから攻撃のリズムが出始め、岡崎、菅野のロングシュートなどで得点を重ねていった。しかし、前半の立ち上がりのミスが大きく影響し、広島メイプルレッズのペースで前半を終えた。

後半開始直後に広島メイプルレッズの不正入場により、東女体大はチャンスを得るが攻めきれず、リズムに乗りきれなかった。その後、広島メイプルレッズの速攻、東女体大のセットプレーによる得点などで一進一退の展開が続いたが、お互いにミスが多く、広島メイプルレッズが逃げ切った。（後藤義和）

広島メイプルレッズ：石山＝６点、岩本＝５点、吉兼＝３点、杉本＝３点、木村＝２点、青戸＝２点、呉＝２点、前山＝１点、坪井＝１点

東京女子体育大学：菅野＝５点、岡崎＝４点、吉田＝３点、橋沼＝２点、土屋＝１点

北國銀行	24	9－12 15－6	18 MIE Violet' IRIS

［戦評］前半立ち上がりからスピーディな攻防を繰り広げる両チームであるが、シュートミスが目立ち主導権を握れない状態が続く。残り10分北國銀行に退場者が連続し、それを機に２点差としてＭＩＥが突き放しに掛かった。北國銀行も素早い展開から相手ゴールを狙い、粘り強さを見せた。結局試合巧者ぶりを発揮したＭＩＥが前半を12－９の３点差で折り返した。

後半ＭＩＥの勢いがすっかり影を潜め、北國銀行の完全なペースとなる。開始５分で同点に追いづくと北國銀行の勢いは止まらず、19分まで連続11得点とＭＩＥの追い上げムードを完全に消してしまった。ＭＩＥもやっとの思いで19分に後半初得点。その後も何とか追いすがるが、時既に遅し。ＭＩＥにとっては悪夢の“19分間”だったが、北國銀行にとっては次戦に向け弾みのつく“19分間”であった。（本地照行）

北國銀行：村上（麻）＝６点、小松＝４点、浜田＝４点、岡田＝３点、中村＝２点、小野澤＝２点、近藤＝１点、村上(亜)＝１点、渡邊＝１点

MIE Violet' IRIS：伏見＝５点、太田＝４点、浦田＝３点、池田＝３点、須藤＝２点、浪崎＝１点

シャトレーゼ	25	15－8 10－10	18 ＨＣ名古屋

［戦評］ＨＣ名古屋のスローオフで試合開始。両者とも２点ずつを取り合った後、シャトレーゼがロング、速攻と３連取し主導権を握る。ＨＣ名古屋もその後、必死に食い下がるが、シャトレーゼの高いディフェンスに苦戦した。シャトレーゼは菅原の巧みなステップシュート、山崎のサイドシュートなどで着実に加点。前半を15－８で折り返す。

後半に入り、一進一退の点の取り合いとなった。ＨＣ名古屋は何とか追いすがろうとするが、ディフェンスで守りきることが出来ず、なかなか得点差を縮められなかった。連続得点できないＨＣ名古屋に対し、シャトレーゼは要所での堅い守りで試合の主導権を渡さなかった。最終的には地力に勝るシャトレーゼが前半の貯金を生かし25－18で逃げ切った。（小川裕之）

シャトレーゼ：菅原＝８点、稲吉＝５点、原田＝３点、山崎＝３点、穂積＝２点、寺田＝２点、藤浦＝１点、早船＝１点

ＨＣ名古屋：菅谷（奈）＝４点、羽出重＝４点、菅谷（枝）＝３点、加治木＝２点、加納＝２点、加藤＝１点、堀尾＝１点、水野＝１点

オムロン	29	15－11 14－15	26 筑波大学

［戦評］前半立ち上がりから激しい攻守を繰り広げる両チーム。オムロンは速攻、７ｍT、サイドシュートで得点を重ねるが、ミスも目立ち波に乗れない状態が続く。しかし前半10分筑波大学２人の退場を機にオムロンが主導権を握る

かと思われたが、筑波大学もＧＫの好セーブ、速攻で得点を重ねて１点差に。その後お互いに譲らず前半15－11のオムロンリードで終了。

後半オムロンはミス連発など得点の糸口がつかめない中、筑波大学がコツコツと得点を重ね、16分に１点差に追いつく。その後10分間はお互いに点の取り合いが続いたが、残り３分オムロンの速攻で試合が決まった。最後まで目の離せない好ゲームであった。（福西理保）

オ　ム　ロ　ン：冨田＝12点、佐久川＝８点、金城＝５点、坂本＝２点、劉＝２点

筑　波　大　学：森本＝７点、千葉＝７点、高橋＝５点、岡田＝３点、谷口＝２点、太田＝２点

【準決勝】

広島メイプルレッズ　25（15－8／10－16）24　北國銀行

［戦評］広島メイプルレッズのスローオフで試合が開始されると、すぐさま怒涛の攻撃を見せ、一気に６－０と北國銀行を引き離してしまう。たまらずタイムアウトを取る北國銀行ベンチだが、この６点差が後々大きな壁となって北國銀行の前に立ち塞がることとなる。村上(麻)、中村、近藤を軸に北國銀行が追撃を開始すると、広島メイプルレッズも青戸、杉本らが速攻で突き放しを図る。その後両者ともにペースを掴めぬ振幅の大きな展開が続くが、広島メイプルレッズが７点差をつけ前半を終える。

後半に入ると、北國銀行がスローオフから４点を連取する。これで広島の攻守に狂いが生じ、北國銀行が一気に３点差まで詰め寄る。ここで一旦広島メイプルレッズが復調するかに見えたが、20分過ぎから北國銀行が猛追を再開し、１点差まで追い込む。しかし、広島メイプルレッズが辛くも逃げ切った。（清水　諭）

広島メイプルレッズ：杉本＝10点、青戸＝８点、岩本＝３点、林＝２点、前山＝１点、呉＝１点

北　國　銀　行：小野澤＝８点、村上（麻）＝５点、小松＝３点、中村＝３点、浜田＝３点、近藤＝１点、渡邉＝１点

オムロン　22（12－8／10－12）20　シャトレーゼ

［戦評］シャトレーゼ稲吉が右サイドから先制。オムロンは冨田のミドルを皮切りに３連取する。７分３－３で一進一退の攻防が続く。高さに優るオムロンが外角からシュートを決め７－４と３点差をつける。３－２－１ＤＦをしくシャトレーゼも足が良く動き速攻などで７－７の同点まで追い上げるが、オムロンＧＫ吉田の好守もあり逆転しきれない。オムロン金城の２連取もあり12－８で前半を終える。

後半オムロンが両チームを通じて初めての退場者を出し、シャトレーゼがパワープレーのチャンスを得るが、オムロンは２分間の失点を１点で凌ぐ。シャトレーゼは４－２ＤＦに変え流れを変えようとするがミスが出る。佐久川のインターセプトからの得点など確実にシュートを決めたオムロンが２点差で試合を制した。（徳永賢志）

オ　ム　ロ　ン：冨田＝５点、佐久川＝５点、金城＝４点、劉＝３点、藤長＝２点、坂元＝２点、安心院＝１点

シャトレーゼ：稲吉＝６点、橋本＝５点、菅原＝３点、藤浦＝３点、早船＝２点、寺田＝１点



【決　勝】

広島メイプルレッズ　35（16－11／19－17）28　オムロン

［戦評］立ち上がりから両チーム共カットイン、ポスト、速攻と点の取り合いとなり、激しい攻防となった。前半15分過ぎから、広島メイプルレッズ林のステップシュート、岩本の速攻あたりからゲームが動き出した。しかし、オムロンもＤＦの間をうまく突き、ポストシュートなどで応戦し、前半を16－11と広島メイプルレッズリードで終了した。

後半に入り、オムロンは林、呉にマンツーマンＤＦを仕掛けるが、なかなか点差は縮まらないままゲームが進んだ。終盤に入っても広島メイプルレッズはＧＫ浅井を中心として守りを堅め相手の攻撃を封じ込んだ。最後までオムロンにつけ入る隙を与えず、35－28で広島メイプルレッズの快勝であった。　（楓　健児）

広島メイプルレッズ：林＝８点、呉＝７点、青戸＝５点、岩本＝５点、石山＝５点、杉本＝３点、坪井＝２点

オ　ム　ロ　ン：冨田＝７点、坂元＝４点、安心院＝３点、佐久川＝３点、水野＝３点、劉＝３点、藤長＝２点、金城＝２点、藤長＝１点



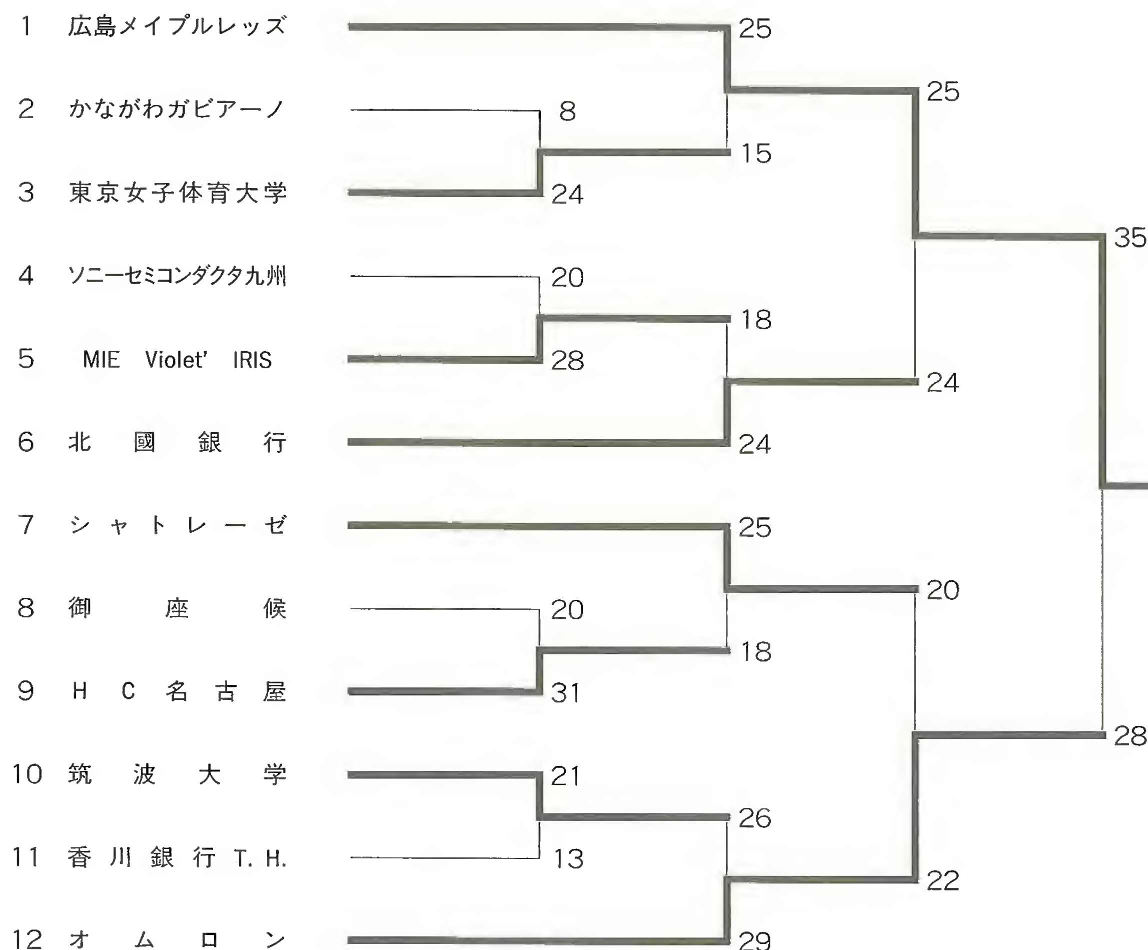
【最終順位】

優　勝　広島メイプルレッズ
準優勝　オムロン
第３位　北國銀行
第３位　シャトレーゼ

【個人表彰】

最優秀選手賞　浅井友可里（広島メイプルレッズ）
最優秀監督賞　林　　五卿（広島メイプルレッズ）

■女子勝ち上がり表



高松宮記念杯 男子第45回・女子第38回
平成14年度全日本学生選手権大会

男子は、日本体育大学が15回目、女子は、筑波大学が6回目の優勝を果たす

全日本学生ハンドボール連盟理事長 福 地 賢 介

高松宮記念杯男子第45回・女子第38回平成14年度全日本学生選手権大会は、11月13日から17日までの５日間にわたり、大阪市にて開催されたが、男子は日体太が３年ぶり15回目、女子は筑波大が２年ぶり６回目の優勝を果たした。

今回は、主管の関西学連が競技環境をより充実させる一つとして、現在、世界的にもトップレフリーの評価を受けているノルウェーのスペインオラフ・オイエ氏とオイビンド・ドクスタッド氏を招き、１回戦から担当してもらった事である。

男　子

男子は、大会前の予想では、地元大体大の三連覇か、その大体大を西日本学生で破り、今大会第１シードの中部大の初優勝がなるかあるいは、東日本学生で圧倒的な強さを見せて勝ち上がった日体大、秋季リーグ優勝の早稲田、第２シードの筑波大、第３シードの日本大などが有力視されていた。しかし、中部大が、２回戦で第２延長に持ち込まれ、大同工大の粘りに敗れる波乱があった。更に、準々決勝では、地元期待の大体大が筑波大に敗れ、ベスト４は日本大・筑波大・早稲田・日体大の関東勢が占めた。

トーナメント大会は準決勝戦が面白いと言われているが、筑波大－日本大は、筑波大が岩永・藤山・宮里等で良く攻め守り、日本大も、長村・GK平柳の活躍で、追いつ追われつの展開となり、延長戦に縺れ込んだ。どちらが勝ち上がるか予断の許されない展開の中、第２延長かと思われた残り２秒の時に筑波大・岩永の一投が決まり劇的な勝利で、昭和63年・第31回大会以来の決勝進出を決めた。

日体大－早稲田は、早稲田に先行された日体大が前半20分過ぎに早稲田のミスをつき逆転。その後、早稲田のエース猪妻をマンツーマンマークで封じ込めると共に、リーグでは不振であった宮平が復調、速攻を封じられている時に、前田、宮平の両フローターの活躍で常にリードを保ち途中、５点差、６点差として安全圏かと思う展開になりながら、早稲田もその都度、田平の好リードでディフェンスを立て直して１点差まで追い上げるものの残り１分、ノーマークシュートを日体大GK浦和のファインセーブがあり、返しの速攻を決めて結局２点差で勝ち上がり、３年ぶりに王座をかけて筑波大との決勝戦に駒を進めた。



決勝戦は、的確なレフリングで関係者の賞賛を受けたノルウェーの審判が担当、立ち上がりから日体大のスピードとパワーが、女子とアベック優勝もと思われた筑波大に疲労が窺え、決勝戦では珍しい大差で、３年ぶり、15回目の優勝を飾った。

女　子

女子は、筑波大－東女体の６年連続の同一大学の対戦となった。

第１シードの福岡大が１回戦で京教大に敗退し緒戦で姿を消した以外はシード校が順当に勝ち上がった。

筑波大は地元期待の大教大他を森本、太田、谷口の高さとパワーを高橋が良く生かし圧倒、東女体は、岡崎、土屋の怪我もあり、地元の武庫川女大戦では苦戦したが、順当に駒を進めた。

決勝戦はノルウェーの審判から将来有望との折り紙をつけられた家永・福島ペアが担当し開始された。

東女体が先制し、それを筑波大が追う展開となり、両大学、夫々持ち味を出して戦い、前半はイーブンで終わった。後半に入り一時は東女体が３点差としたものの、東女体に退場の出ている間に追いつき、筑波大デイフェンスの岡崎への密着マークで攻撃を封じ、昨年のリベンジを果たして、６回目の優勝を手中にした。

総　評

今大会に限らず、ここ10年間を見ると、男子は、東日本学生では予選リーグで敗退しインカレ出場決定戦からの参加でありながらシード校を破ってのベスト４進出もある。シード校の１～２回戦での敗退も目立ち、東西学生選手権



大会後のノーシード組のチーム力の向上が認められシード校と言えども楽には上位進出が難しくなってきている。

学連（リーグ・大会）・協会（国際試合・全日本活動）・都道府県協会（国体）関係の行事の過密日程問題もあり、東西学生選手権開催によるインカレ出場権やシード権のあり方も問われてきている。

関西学連のノルウェーからのトップレフリー招聘による日本人レフリーへの刺激・影響は審判技術の向上に貢献大であり、事情が許されるならば続けて行きたいと思っている。

◇男子成績

優　勝　日本体育大学
準優勝　筑　波　大　学
第３位　早 稲 田 大 学
第３位　日　本　大　学

＊ 日体大は、３年ぶり16回目の優勝
＊ 日体大、筑波大は全日本学連推薦により全日本総合出場権獲得

◇個人表彰

⊙優秀選手賞（数字は背番号）

ＣＰ　柳本　義文　日体大３（４年）
ＣＰ　飯田　健一　日体大６（３年）
ＧＫ　浦和　克行　日体大12（３年）
ＣＰ　岩永　生　筑波大10（１年）
ＧＫ　宮里　雅志　筑波大12（４年）
ＣＰ　猪妻　正活　早稲田５（３年）
ＣＰ　西山　貴洋　日本大５（４年）

⊙特別賞

ＣＰ　前田　誠一　日体大９（４年）
ＣＰ　田平　修一　早稲田３（４年）
ＧＫ　平柳　次弘　日本大１（３年）

⊙優秀監督賞

松井　幸嗣　日本体育大学

◇女子成績

優　勝　筑　波　大　学
準優勝　東京女子体育大学
第３位　福 岡 教 育 大 学
第３位　日本女子体育大学

＊ 筑波大は、２年ぶり６回目の優勝
＊ 筑波大、東女体は全日本学連推薦により全日本総合出場権獲得

◇個人表彰

⊙優秀選手賞（数字は背番号）

ＣＰ　高橋　敦子　筑波大２（４年）
ＣＰ　森本　美奈子　筑波大５（４年）
ＣＰ　太田　智子　筑波大６（３年）
ＣＰ　丑久保　佳奈　東女体２（４年）
ＣＰ　吉田　祥子　東女体13（３年）
ＣＰ　濱元　絵里　福教大９（４年）
ＧＫ　伊禮　雅　日女体12（３年）

⊙特別賞

ＧＫ　竹鼻　瑤子　筑波大１（１年）
ＧＫ　小松　理子　東女体１（４年）

⊙優秀監督賞

水上　一　筑波大学

★ノルウェーのトップレフェリー

Svein Olav Oie
国　際　大　会：370試合
オ リ ン ピ ッ ク：３試合（2000決勝）
ワールドカップ：11試合（1995、2001決勝）
ヨーロッパカップ：５試合（1994、1998決勝）

Oyvind Togstad
国　際　試　合：89試合

なお、第17回男子世界学生選手権大会は開催地の都合により中止となりました。

男子の部

優勝・日本体育大学 26−38

No.	大学	1回戦	2回戦	3回戦	準決勝
1	中部大学	33			
			23		
2	中央大学	25			
				17	
3	大同工業大学	23			
			24		
4	函館大学	19			
					33
5	愛知学院大学	20			
			18		
6	国士館大学	38			
				31	
7	広島大学	19			
			19		
8	日本大学	35			
9	大阪体育大学	33			
			35		
10	仙台大学	22			
				23	
11	同志社大学	24			
			18		
12	国際武道大学	23			
					34
13	天理大学	16			
			24		
14	明治大学	22			
				30	
15	琉球大学	31			
			28		
16	筑波大学	36			

準決勝	3回戦	2回戦	1回戦	大学	No.
			28	大阪経済大学	17
		20			
			19	横浜商科大学	18
	21				
			35	桃山学院大学	19
		22			
			16	金沢工業大学	20
28					
			29	関西学院大学	21
		24			
			35	早稲田大学	22
	26				
			26	広島経済大学	23
		22			
			32	順天堂大学	24
			15	東和大学	25
		18			
			25	東海大学	26
	21				
			29	福岡大学	27
		21			
			20	法政大学	28
30					
			24	中京大学	29
		21			
			27	東北福祉大学	30
	27				
			18	名城大学	31
		32			
			32	日本体育大学	32

女子の部

1回戦

- 関西外国語大学 27 − 19 東京学芸大学
- 大阪体育大学 26 − 17 東北福祉大学
- 琉球大学 14 − 21 茨城大学
- 愛知教育大学 39 − 13 北海道教育大学釧路校
- 広島大学 28 − 21 仁愛女子短期大学
- 中京大学 15 − 16 日本体育大学
- 天理大学 27 − 17 仙台大学
- 京都教育大学 17 − 15 東海大学

2回戦

- 筑波大学 33 − 16 関西外国語大学
- 大阪体育大学 16 − 25 大阪教育大学
- 国士館大学 16 − 11 茨城大学
- 愛知教育大学 24 − 28 福岡教育大学
- 東京女子体育大学 46 − 4 広島大学
- 日本体育大学 17 − 19 武庫川女子大学
- 日本女子体育大学 20 − 18 天理大学
- 京都教育大学 26 − 24 福岡大学

準々決勝

- 筑波大学 38 − 21 大阪教育大学
- 国士館大学 15 − 21 福岡教育大学
- 東京女子体育大学 21 − 17 武庫川女子大学
- 日本女子体育大学 17 − 12 京都教育大学

準決勝

- 筑波大学 29 − 18 福岡教育大学
- 東京女子体育大学 22 − 11 日本女子体育大学

決勝

- 筑波大学 22 − 20 東京女子体育大学

優勝・筑波大学 22−20

越智 武氏 勲四等瑞宝章を受章



全日本総合での越智 武氏（右は山下副会長）

越智 武氏 主な表彰

財団法人愛媛県体育協会功労賞
全国高等学校体育連盟ハンドボール部10周年功労者表彰
愛媛県高等学校体育連盟ハンドボール部功労表彰
全国高等学校体育連盟ハンドボール部15周年功労者表彰
日本ハンドボール協会30周年功労者表彰
愛媛県ハンドボール協会45周年功労者表彰

元日本協会理事でありました越智武氏が、平成14年秋の叙勲において、勲四等瑞宝章を受章されました。

越智氏は、大正９年４月に愛媛県今治市にお生まれになり、昭和15年に日本体育会体操学校（現日本体育大学）をご卒業されました。その後、名古屋私立東邦商業学校に奉職され、兵役を経て、昭和21年10月より、私立新田中学校、今治西高校、愛媛県教育委員会、松山商科大学（現松山大学）教授などを歴任されました。

越智氏とハンドボールとの関わりは、日本体育会体操学校送球部入部から始まり、昭和13、14年の全日本選手権を制した同校の輝かしい成績に大きく貢献されました。この目覚しいご活躍が認められ、在学中から関西地区における競技の普及と技術向上のための指導者講習会に派遣されました。この指導者講習会が基となって西日本ハンドボール協会へと発展し、全国普及への大きな第一歩となったことは特筆されるべきことであります。

越智氏は昭和26年４月から昭和57年までの31年間、日本ハンドボール協会理事を務められました。組織運営、普及など問題が山積するなか、競技者、また、指導者として培われた理念に基づき、審判制度の導入を提案、昭和32年12月に採用され、審判技術の規範化と競技の公正性が確立されました。

また、昭和26年には全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部部長を併任され、ハンドボールの普及、定着に大きな足跡を残されました。

日本協会は昭和48年頃から、法人化の検討を始めましたが、昭和53年財団法人化が決議され、基本財産の募金活動が開始されるや、越智氏は日本協会理事として各方面に募金を呼び掛けられました。結果予定の３年を待たず目標額を達成し、昭和55年２月設立発起人会が作られました。同時に越智氏は日本協会代表として設立発起人に選任され、昭和56年３月11日付けで文部大臣の許可を得、財団法人日本ハンドボール協会が誕生することになりました。

さらに、競技人口の少なかった四国地区及び愛媛県に四国ハンドボール協会と愛媛県ハンドボール協会を創設し、競技普及の基盤を築かれました。

四国協会、愛媛県協会の隆盛を見極めた後は、スポーツ指導に徹し、ハンドボール競技の更なる普及、競技力向上に努められました。平成10年すべての勤務を退職された後は、ジュニアハンドボール教室等での指導や、近くの中学校や小学校での体育指導に邁進し、愛媛県ばかりでなく、広く四国地域でのスポーツ振興を担っておられます。

このたびの受章をお喜び致しますと共に、今後益々ハンドボールの発展のためご指導戴くようお願い致します。

金原 至氏 勲五等瑞宝章を受章



金原 至氏略歴

氷見市ハンドボール協会理事長	氷見市体育協会副理事長
全国高等学校体育連盟ハンドボール部常任委員	
氷見市体育協会理事長	日本ハンドボール協会評議員
富山県体育協会理事	富山県ハンドボール協会理事長
富山県体育協会強化委員長	日本ハンドボール協会理事
全国高等学校体育連盟ハンドボール部審判長	
全国高等学校体育連盟ハンドボール部副部長	
氷見市体育協会専務理事	富山県ハンドボール協会会長

平成14年秋の叙勲で、富山県協会会長金原至氏が勲五等瑞宝章を受章されました。このたびの栄誉に対し、心からお喜び申し上げます。

この受章記念祝賀会が氷見市ふれあいスポーツセンターで行われ、氷見市ハンドボール協会指崎泰利理事長より、祝賀会の様子を戴きましたので掲載致します。

金原至先生勲五等瑞宝章受章記念祝賀会は、平成14年12月21日（土）午後２時より、氷見市ふれあいスポーツセンターにて、300名の参加を得て盛大に開催された。

山口吉弘前富山県高体連専門委員長（現ふれあいスポーツセンター事務局長）の先導で、満場の拍手の中を先生が入場し、ひときわ高くこしらえた中央ステージの右に着座された。

発起人を代表して堂故茂水氷見市長が挨拶を行い、中沖豊県知事（代読）、立山アルミニウム工業（株）竹平栄太郎会長、日本ハンドボール協会大西武三専務理事が祝辞を述べた。特に竹平会長は、「この人」と出会って本当に良かった。すばらしい７年間だった、１点差で勝利した最後のシャトレーゼ戦は一生涯忘れないと述懐された。また大西専務からは、街角で会ったお年寄りとの会話から、氷見市におけるハンドボールが市民文化の域にまで達していることを感じ取り感激したとの報告があった。

このあと金原至先生の挨拶を受けた。先生は叙勲受章は多くの人の力添えがあったこと、日々感謝の心を忘れず今後も精進していきたいと語られた。

西川扇博による西川流日本舞踊が披露され、布子誠剛氷見市議会議長の乾杯で祝宴が始まった。

料理はホテルニューオータニが担当したが、総料理長直々に出向いてのサービス振りだった。しばらくして総勢26名による５つの鏡割りが披露された。

祝宴中は先生に一言お祝いのことばを捧げようと、友人や教え子がひっきりなしに押し寄せ、記念写真撮影もありで、主賓席はごった返し状態となった。

氷見高校時代と高岡商業高校時代の同僚教師から思い出を語ってもらい、花束の贈呈を受けた。昔を振り返り感極まる場面もあった。

冨樫道子氷見市教育委員長の万歳に先生が返戻の万歳をおこない、富山県ハンドボール協会永田義邦副会長による閉会の挨拶で締めくくった。

最後に先生自ら会場を出る人々１人１人に懇切丁寧に声をかけて挨拶したが、全員が退出するのに30分以上かかるという念の入れようだった。

金原先生はハンドボール界だけではなく、広く体育行政全般にかかわっておられるため、氷見市教育委員会や氷見市体育協会傘下の各加盟団体からも大勢の参加があった。そういうこともあり、当初何人の参加があるのか人数の予測が全くつかず、ホテルなどでの開催を取りやめて体育館にしたといういきさつがある。

先生を慕う人は市内・町中いたるところに存在し、祝賀会を公開し無制限にすればまさしく氷見市中から大勢の人々が参集するだろうと思われる。

「ハンドボール一筋の人生」は氷見市中にその理念がふりまかれ、多くの後継者によってあらゆる方面から実現されんとしている。

第10回近畿ジュニア選抜　韓国遠征報告

男子監督　小田　文雄
（府立泉北高等学校）

9月の選考会を経て、選手達が各府県に帰り各チームの一員として練習に励み、それぞれの目標を立て新人大会に臨み大きな成果をあげ更なる力と自信を身につけました。遠征に向けての練習会に参加し、選手一人一人が近畿の代表としての自覚と一つのチームとしての意識を高め韓国での取り組みについて近畿役員の指導のもと理解させ出発に至りました。

前年度はアメリカでの同時多発テロ事件や教科書問題等で中止になった経緯もあり、不安を胸に韓国に到着し現地ガイドの親切な対応を体感し、ほっとし、翌日からの高麗高校との交流試合についてのミーティングを行う中で、今回の遠征における目標は、韓国式フットワークとフェイントステップの習得を目指すことをスタッフ一同再確認しました。

翌朝、体育館に着き我々スタッフと選手は、不安と寒さに耐え、監督とコーチ・選手を紹介して頂き、コーチと練習内容についての打ち合わせを行い、合同練習に入り、最初に驚いたことは選手とコーチの和やかさでした。体操・ランニング・ストレッチ・フットワークが進むにつれ更に驚いたことは、韓国選手一人一人が大きな声を出し活気あふれる練習の中で基本に忠実に行い、寒い中けが無く練習する為の筋や関節をほぐしたアップでした。当然ながら日本の選手達は圧倒され、ついていくのがやっとの状態でした。ボールの扱いについては日本同様基本を重視した点であり、実に無駄の無い練習内容でした。午後は日本の選手の力量を見る為に30分前後半のゲームを行い、高麗高校の守備から攻撃への切り替えの早さや攻撃のボールを素早く展開し、シュートチャンスを見逃さないで打ち、ポストが素早く勝ちの位置を取りボールを呼び込みシュートを打ち、ミスの少ない攻めと守りに驚かされました。特に目を引いたのは、左右両腕を使ってシュートする選手でした。試合結果は惨敗でしたが、連携して守れば何とか勝機があるのではないかと思いました。試合後直ぐにコーチから日本選手はオーバーステップが多いことを指摘されストップと足の運びを指導して頂きました。

2日目はフェイントのフットワークを中心に指導して頂き、その中で止まる為の技術を徹底して『低く早く』を強調され、韓国選手の下で一対一の練習を繰り返し、最初できなかった選手達も徐々にマスターでき、顔に笑みが出始め、選手達の交流が進み両国選手がしっかり声を出し、活気ある練習になりました。イーコーチが今日習ったステップを生かしながらオーバーステップの少ないプレーで試合に臨むように注意され、20分ゲームを三本行い、選手達の足さばきが変わった様子が見受けられました。接戦が一試合あり最終日に望みを残した形で終えることができました。

3日目は、フェイントを利用した二対二や三対三の攻防と位置取りを指導して頂き、そのプレーを生かしゲームを25分の前後半行い、前半は勝ちを意識しすぎ肩に力が入り、ミスが目立ち教えてもらったことが一つも使えずにあっさり負けてしまいましたが、後半は選手一人一人が精一杯のプレーでミスも少なく集中した勝ちゲームができました。最後に大きな収穫を得た気分で終えることができました。わずか3日間の経験ですが、スタッフ・選手ともに貴重な体験となり、今後のハンドボールの発展に役立てることになると強く確信しました。

最後に親切丁寧に指導して頂いた韓国高麗高校キム監督やイーコーチ・選手に感謝するとともに、この機会を作っていただいた近畿高体連専門部と選手達に感謝します。

本当にありがとうございました。

団　　長	小　崎　雅　基	県立紀北農芸高等学校
監　　督	小　田　文　雄	府立泉北高等学校
渉外・庶務	位　田　敏　夫	県立野洲高等学校
救　　護	寅　本　里　奈	那賀病院

No.	氏　名	所属高校	学年
1	福　原　憂　滋	育英	2
2	内　山　隼　人	育英	2
3	松　村　功　士	育英	2
4	山　城　優　児	神戸工業	2
5	藤　代　哲　也	神戸工業	2
6	田　中　宏　侑	北嵯峨	2
7	砂　川　　　亮	北嵯峨	2
8	増　田　一　樹	北嵯峨	2
9	桜　間　健　司	北嵯峨	2
10	寺　田　　　慧	彦根東	2
11	田　中　純　生	米原	2
12	成　宮　章　博	近江	2
13	中　西　栄　進	紀北農芸	2
14	榎　本　直　貴	紀北農芸	1
15	馬　場　辿　耶	粉河	2
16	中　谷　隆　太	粉河	2
17	佐　藤　裕　一	箕面	1
18	永　谷　茂　之	箕面	1
19	井　上　貴　之	大商学園	2
20	濱　口　雄　一	北野	2
21	西　川　岳　芳	泉北	2

女子監督　大西　和雄
（市立西宮高校）

今回の女子チームの交流高校は、ソウルから北へバスで約40分ほど走った議政府（ウィチョンブ）女子高校でした。このチームは昨年韓国の高校のトップに立ちましたが、その後3年生が抜け、代わりに来春入学する中学3年生を加えて今は新チームへの移行期にあります。とは言うものの新チームも韓国ベスト4は間違いなく、右45度を攻める172

cmの左腕は現時点でジュニアの韓国代表だそうです。監督の李　仁徹（リ　インチュル）先生は３年前大阪で開催されたアジア女子ジュニア選手権の韓国代表コーチを務められていて、韓国有数の指導者です。到着後すぐに校長室に招かれ、校長先生の歓待を受けました。校長先生は「本校は漢江から北では最も優秀な女子高で進学実績も大変良い。指導上の問題はこの３年間ゼロで、目下の指導上の最大の問題は生徒が上履きで外に出ることぐらいである。運動クラブもハンドボール部は言うまでもなく、スケートと自転車(ロードレース)もトップレベルにある」と自慢されていました。そして短い期間ではあるけれども有意義な研修を積んでくれることを期待している、との激励をいただきました。

議政府女子高校の選手達は体育館の２階に合宿中で、前述の中学３年生３名を加えて９人しかいません。体育館のフロアにはハンドボールコートのラインテープしかなく、彼女達がほとんど専用で使っているようです。

合宿練習は、まず日本チームの実力を知りたいとの韓国側コーチの希望で、いきなり20分ハーフの練習試合から始まりました。もちろん選手個々の実力差は歴然ですし、われわれは全員をできるだけ均等に出場させるため交替を繰り返すのでチームも落ち着かず、20点差以上をつけられて大敗しました。午後からはこちらの希望でもあったフットワークを中心に合同練習を行いました。直接指導されるのは李監督ではなく、就任間もない若いコーチでした。彼は国軍のスポーツエリートを集めた「尚武」と呼ばれるチームの出身ですから、選手達に見本を示す時のフェイントの速さ、ディフェンスの強さ、ジャンプの高さなど、選手としてもただ者ではありません。またツアーガイドとは別に、練習の時だけについてくれる通訳として金　賢玉（キムキョンオク）さんも来られました。彼女はこの議政府女子高校の出身で、祥明女子大を経て３年前まで日本リーグの大崎電気で活躍していた名選手ですので、通訳だけでなくコーチとしてもわれわれを指導してくれました。

フットワークの練習法としては、われわれも今回ですでに10回目の研修を重ねていますので、特に目新しいというものではありませんでした。近畿の強豪校などでは、すでに採用されているものが中心です。しかし韓国で強く要求されるものは、その集中力と確実性です。例えばフリースローラインとゴールエリアとの間をＤＦステップで往復し、サイドまで進んだら速攻のダッシュに移るという練習では、韓国選手が10回往復するところを日本選手は８回ほどで速攻ダッシュに移ってしまい、それもハーフラインを過ぎれば流してしまうのです。またコートいっぱいを広く使ったスリークロスや４人・５人のランパス速攻になると日本選手のパスミス・キャッチミスがどうしても目立ってしまいます。基礎技術の大切さと精神的スタミナの重要性を痛感させられました。

二日目も試合はなく合同練習を行いましたが、フェイント練習で興味深いものがありました。一対一で自分の利き腕の逆に抜く時に、ＤＦの腕をはたき落とすのです。つまり右利きがＤＦの左側に抜く場合、ボールを握った右手を頭上に上げると同時に左手でＤＦの右手首を打ち下ろして体をかわすのです。これは右手を上げる動作と左手を下げる動作がまるで風車のように同時に連携して行われることによって、抜く際のボディバランスも安定させるという意味をもつ技術でした。

最終日の午前中に議政府女子中学のチームと30分ハーフの試合をしました。後半の10分ぐらいまでは何とか３～４点差でついて行けたのですが、途中連続６失点もあり、結局17対29の12点差で敗れました。中学生とはいえ速く・力強く・正確なプレーは高校生と同じで、これは結局日韓ナショナルチームの差にまでつながります。特に身長は160cmほどですが、右45度の左腕プレーヤーの力強さと、両サイドプレーヤーの多彩なシュート技術が印象的でした。今回の日本チームには左利きの選手が含まれておらず、そのため右半分を攻めるのに苦労しました。

もとよりこの遠征は試合よりは練習、勝敗よりは研修を目的としたものです。その意味では今回選ばれた選手たちは良く頑張ったと思います。厳しい練習にも必死で食らいついていき、積極的に色々なことを吸収しようとしていました。日本での合同練習は選考会を含めてたった四日間でしたが、各県から選ばれた選手達はすぐに仲良くなり、学ぶ姿勢に富んだ大変良いチームになりました。マナーも大変良く、議政府女子高校の選手とも住所を交換するなど、友好を深める努力もしていました。またバスの中でのツアーガイドの説明も真剣に聴き、ハンドボールだけではなく日韓の歴史などにも理解を深めてくれたことと思います。今後は韓国で学んだ様々な貴重な体験を各チーム、各府県に持ち帰り伝え広めてもらいたいと願っています。

最後にこのような貴重な研修の機会を与えてくださった保護者の皆様、近畿高体連の皆様に厚く御礼を申し上げてこの報告を終えたいと思います。どうもありがとうございました。

団　　長　小崎雅基　県立紀北農芸高等学校
監　　督　大西和雄　県立西宮高等学校
コーチ　村尾　亮　府立桜塚高等学校
コーチ　馬崎佳奈　京都女子高等学校
渉外・庶務　長峯寿次　奈良文化女子短大付属高等学校
救　　護　寅本里奈　那賀病院

No.	氏　名	所属高校	学　年
1	河波江里	守山女子	2
2	田中有香	市立西宮	2
3	松井佑妃	京都女子	2
4	富田柾惠	京都女子	2
5	山下由貴	京都女子	2
6	松井香織	北嵯峨	2
7	久保田悠香	守山女子	2
8	西村絵里加	守山女子	2
9	福永典子	守山女子	2
10	臼井彩矢香	八幡商業	2
11	松本有加	泉北	2
12	眞杉奈津子	一条	2
14	大島千佳	大谷	2
15	清水絵梨	大谷	2
16	高橋洋子	城南学園	2
17	春永実波	加古川北	1
19	冨田志穂	金蘭会	1
20	三宅晶子	金蘭会	1

「伝達の大切さ」

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

03年はどんな1年になるだろう。最大のテーマはアテネ・オリンピック予選突破であろう。世界選手権出場を逃がした昨年の戦いぶりを克明に分析して、予選に生かすことが大切である。

昨年の日本列島はサッカーのワールドカップ開催で沸騰した。2度目出場の開催国日本の決勝トーナメント進出はもちろん、共同開催国韓国のベスト4入りがいっそう盛り上げに貢献したことは確かである。ハンドボール界もサッカーに負けないくらい日本列島を熱く燃やしたいとの夢はだれもが願っているはずだ。

さて、そのサッカー・ワールドカップに日本が初出場したのは、98年のフランス大会だった。それまで何度となくあと一歩に迫りながら、涙を流し続けていたのはご存知の通りである。とくに〝ドーハの悲劇〟はスポーツに関心のある方なら脳裏に焼きついていることだろう。

そのフランス大会予選で日本は、窮地に追い込まれた。岡田監督のもとでアシスタント・コーチを務めた小野 剛氏（現J2サンフレッチェ広島監督）は、その時の苦しい戦いを振り返ってこう言う。

「本当に徳俵で辛うじて踏み止まったところまで追い込まれた。サポーターからは罵声が続き、卵などまで投げられたこともあった。しかし、ここまできたらやるしかなかった。戦い方を変えようとも思わなかった。これまでやってきたことを貫き通すことしかなかった。でも、結果的にそれがよかった」

まさに日本サッカー史上に残る快挙を達成、悲願をかなえたのだ。考えようによれば開き直りが成功したともいえようが、一方で対戦相手の情報収集、分析など十分なスカウティングがあったからこその成果であることははっきりしている。

小野コーチの選手へのアドバイスは簡潔明瞭だ。個個の持ち味を最大限引き出し、相手の弱点を伝えるというもの。「相手の特徴を多く伝えることによって、かえってこちらの持ち味が消えてしまう。だから、出来る限りこちらの戦いが出来るようなことを考えて選手に伝えるようにしている」。

特徴を発揮させると同時に、相手の特徴を消すことを狙った戦術である。こういえば、ハンドボールに限らず、どの競技でも「当たり前」との反響がかえってくるだろうと思う。だが、要はその伝え方にあるのではないだろうか。出来るだけモチベーションを高める伝え方が出来るかどうかである。こういった点もアテネにつながる一つの手段かも…。

ＩＨＦ総会に市原国際担当常務理事が参加

【ＩＨＦ総会報告】

ＩＨＦ総会が、2002年11月21日から24日まで、ロシアのサンクトペテルブルグで開催された。日本からは、市原国際担当常務理事と栗山委員が参加した。栗山氏より以下の報告が提出された。

○会議における特記事項

・各種イベントホルダーの決定（下に一覧表）

・レギュレーションの決定

・中東勢の欠席

・ＪＡＰＡＮリクエストの反響

イベントカレンダー

男子世界選手権	チュニジア	2005.1.24 ～ 2.6
女子世界選手権	ロシア	2005.12.5 ～ 18
男子 Jr. 世界選手権	ハンガリー	2005.8.22 ～ 9.4
女子 Jr. 世界選手権	チェコ	2005.8.1 ～ 14
ＩＨＦ総会	エジプト	2004

○会議外外交

・神戸予選

ミルマター氏とスタインバッハ氏のスーパーバイザーとしての来日

２ペアー以上レフェリーの派遣

・ジャパンカップエジプト招待

・広島国際招待　フランス、台湾

・東アジア連盟

・トルコよりビーチ世界選手権招待

・国内選手権へのトップレフェリー招待

・モンゴルからの審判講習会講師の派遣依頼

・ギリシャにアテネの活動拠点について質問

・ヨルダン代表からの接触

平成14年度公認スポーツ指導者等表彰者

平成14年度公認スポーツ指導者全国研修会が、平成14年12月14日（土）・15日（日）の２日間に渡り開催され、この時の表彰で総勢149名の内、ハンドボール界から右の方々が表彰されました。今後益々のご活躍を祈念致しましてお祝いとさせて頂きます。

なお、この研修会のテーマ別研修で、蒲生晴明氏が「競技力向上における一貫指導システムについて」講演をされました。

表彰者

【表彰の基準第１号】

公認スポーツ指導者として、資格取得15年以上にわたり、スポーツの指導及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められた方。

東京都　**川上　整司**氏（63）

帝京平成短期大学教授、HC 東京会長、元中央大学付属高校監督

福岡県　**池田　修**氏（52）

福岡教育大学教授、医学博士、福岡教育大学監督



見ていてるだけでも楽しくなっちゃう!

こだわり商品勢揃いの インターネットショッピングサイト

http://www.toki-meki.com/

+@ スポーツ　+@ ライフ　+@ ビューティ　+@ 家電　+@ ギフト　+@ キャラクター　+@ ファッション　+@ サービス

◆◆◆◆◆◆◆ おすすめアイテム ◆◆◆◆◆◆◆

効率よく運動して、健康ボディになろう!





■商品番号一覧

	商品番号 ライト	商品番号 スタンダード	商品番号 ヘビー
22cm	300-004		
23cm	300-005		
24cm	300-006	300-010	
25cm	300-007	300-011	300-014
26cm	300-008	300-012	300-015
27cm	300-009	300-013	300-016

Be. Quarter (20個セット)

●商品番号：300-003

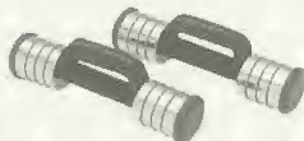
5,500円

ゼリー状の機能性飲料。運動を開始してから脂肪が燃焼されるまでに要する時間は約20分。Be.Quarterを運動開始15分前に飲むことでこの脂肪の燃焼開始時間を大幅に短縮できます。
スッキリとしたりんご味で1パック34kcal。

シェイプアップウエイトインソール

●ライト　2,680円
●スタンダード　2,950円
●ヘビー　3,130円　※商品番号は上記の表をご覧ください。

通勤時や散歩時に靴の中に入れておくだけ。基礎体力のアップなどあらゆるスポーツの基礎トレーニングとして効果的です。



アジャストダンベル5kg (1組)

●商品番号：300-017

14,300円

グリップ部分に柔らかいウレタンを使用。2~5kgで重さを調節できます。便利な専用収納ケース付き。



握力計

●商品番号：300-001

9,000円

測定範囲が0kg~100kgの握力計。男性向けタイプ。黒と白のコントラストが映える文字盤です。強力ポリカーボネイト樹脂製。



握力計 グリップA

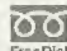
●商品番号：300-002

13,500円

測定範囲が0kg~100kgの握力計。計測針を強化プラスティックで保護しています。レッドとブルーの2色使いのデザイン。

表示価格には消費税・配送料は含みません。支払い方法など、詳しくはサイトをご覧下さい。

お申し込みは、下記要領で

お電話からは  FreeDial 0120-215-621　パソコンからは http://www.toki-meki.com/　ケータイからは http://mobile.toki-meki.com/

受付時間：10:00~17:00(土日祝も営業しております)　住所：東京都中央区京橋2丁目8番18号昭和ビル3階

シーアンドエスグループは、日本ハンドボールチームを応援しています。

株式会社シーアンドエスは、サークルケイ・ジャパン株式会社と株式会社サンクスアンドアソシエイツの共同持株会社です。



シーアンドエス　サークルK　サンクス　ときめきドットコム

連載30

平成14年度 NTS U－19センタートレーニング・全日本U－19選考会

(財)日本ハンドボール協会
NTS運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

12月22日(日)、23日(月)に、平成14年度・NTSセンタートレーニングおよび全日本U－19選考会が、男子・大同特殊鋼、女子・ブラザー工業にて開催されました。

当日は、これからの日本を担う選手たちの熱気で、おおいに盛り上がり、今後の活躍を予感させるプレー振りでした。

U－16、U－12と、まだまだセンタートレーニングも続きますが、引き続き、皆様方にはご支援お願いしたいと思います。　☆ **参加者名簿を次頁に掲載いたします。**

NTS訂正 ＊＊＊＊

12月号21ページに教本・ビデオ販売のお知らせをいたしましたが、注文方法について以下の様になっていますので、よろしくお願い致します。

★ NTS指導教本およびビデオの購入申し込み ★

(財)日本ハンドボール協会　NTS強化指導教本＆コーチングビデオ係まで、現金書留にてお申し込み下さい。お釣りが出ないようお願いします。

価格は、NTS2002の指導教本1冊と90分ビデオ1巻がセットで、1セット10,000円、送料が900円です。

2セット以上まとめてご購入の場合は、(セット数×10,000円)＋送料（1,000円）です。

また、NTS2000（教本1冊・ビデオ2巻）は、1セット9,000円で販売いたします。

送料等は2002セットと同様です。

★ 申し込み・問い合わせ先 ★

財団法人　日本ハンドボール協会　事務局
〒150-8050　東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育館内
TEL 03－3481－2361　FAX 03－3481－2367

平成14年度 NTS U−19センタートレーニング・全日本U−19選考会

当日の参加選手

男子			女子		
選手名	学校名	推薦	選手名	学校名	推薦
竹原健	盛岡南	NTS	和嶋文依	青森中央	NTS・強化
吉田翔太	利府	NTS	菊地友希	盛岡二	NTS・強化
圓谷陽	学法石川	NTS	入間川浩子	聖和学園	NTS・強化
後藤康男	安積	NTS	伊藤真澄	大曲農業	NTS・強化
松信亮平	伊奈	NTS	粂川望	栃木商業	NTS
岸川英誉	国学院栃木	NTS・強化	長谷川あゆ美	栃木商業	NTS
長野仁志	東京学館	NTS	高橋瑛美	昭和学院	NTS・強化
大久保慶一	法政二	NTS	杉田綾子	横浜創英	NTS
水野裕紀	駿台甲府	NTS	五月女美代	埼玉栄	NTS
廣瀬太一	駿台甲府	NTS	加藤絢子	高山高	NTS
青山智英	岡崎城西	NTS・強化	島田加七子	高山高	NTS
大森優介	四日市工業	NTS	千葉文美	暁	NTS
海道衛秀	氷見	NTS・強化	立野綾	氷見	NTS
越前信明	高岡商業	NTS	若松里佳	高岡向陵	NTS・強化
宮島竜二	高岡向陵	NTS・強化	辻井加奈恵	高岡向陵	NTS
土井祐介	高岡向陵	NTS	兄木史子	小松市立	NTS
山原佑太	北陸	NTS・強化	小酒あゆみ	小松市立	NTS
宮迫真	北陸	NTS・強化	米多絵梨香	小松市立	NTS
大山貴之	小松明峰	NTS	大阪絵里子	宣真	NTS
日野谷繁典	大体大附浪商	NTS	藤井優	〃	NTS
岩根隼人	〃	NTS	松居奈々恵	彦根翔陽高校	NTS
岡田大和	神戸国際大附属	NTS	徳永悦代	〃	NTS
西山尚良	洛北高校	NTS	難波里美	賀茂高校	NTS
高智海吏	境	NTS・強化	徳本由香	高水高校	NTS
藤堂聖二	高知西	NTS	内冨仁美	華陵高校	NTS・強化
宮内佑己	松山東	NTS	尾崎由佳	岩国商業高校	NTS
戸渡亮次	九州産業	NTS・強化	岡さゆり	玉野光南高校	NTS
栗崎純一	九州産業	NTS・強化	金山真琴	県立境高校	NTS
吉田哲	長崎瓊浦	NTS	山本美里	江津高校	NTS
東直明	千原台	NTS・強化	久染重	香川中央高校	NTS
堂森宏樹	小林	NTS	八重安由美	香川中央高校	NTS
村山裕次	那覇西	NTS	竹上海里	聖和女子	NTS
住江剛兵	此花学院	強化	小松史香	熊本国府	NTS
角将彦	境	強化	江口美穂	佐世保西	NTS
谷井清二	岡山理科大付属	強化	平川優	大分鶴崎	NTS・強化
舘澤圭祐	不来方	強化	淵脇愛依子	国分	NTS
加藤隆一	利府	強化	東濱裕子	陽明	NTS・強化
大江義人	伊奈	強化	東めぐみ	陽明	NTS・強化
神通康兵	伊奈	強化	仲宗根彩	陽明	NTS・強化
小川雄也	伊奈	強化	成田智佳	聖和学園	強化
工藤雄一	横浜商工	強化	岸明穂	夙川学院	強化
佐藤文将	横浜商工	強化	田中秋乃	横浜創英	強化
出口博崇	法政二	強化	樋口真央	桜花学園	強化
服部広幸	大垣工業	強化	山本尚子	洛北	強化
雲井朋幸	桑名工業	強化	藤原ゆかり	洛北	強化
澤本憲宏	此花学院	強化	市村早紀	夙川学院	強化
西端利彦	桃山学院	強化	山根有加	夙川学院	強化
木村雅俊	桃山学院	強化	細木久未	夙川学院	強化
河西宏紀	総社	強化	植垣暁江	宣真	強化
熊野智宏	香川中央	強化	藤井紫緒	宣真	強化
千々波英明	千原台	強化	真鍋奈緒美	桜宮	強化
景山優作	大分国際情報	強化			
増田貴之	小林工業	強化			
兼浜義人	興南	強化			
今井昭仁	久留米工業	強化			

（男女いずれも順不同、敬称略）

当日参加された、指導者の皆様（敬称略）

男子会場：森安昭雄、加藤茂樹、大房重則、滝川一徳、

女子会場：宮崎　昭、平賀達也、大森　聡、古橋幹夫、西井　渉、柴岡貴広、堀江薫雄、泉谷俊郎、平原慶二、池ノ上孝司

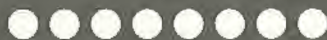
今後も、より多くの指導者の方々にご参加いただきたく思います。よろしくお願いいたします。

平成14年度
第13回全京都車いすハンドボール大会

京都府ハンドボール協会副会長　小　西　博　喜

期日：平成14年11月23日(祝・土)
会場：京都市障害者スポーツセンター

I部



※県名なしは、全て京都府

1次リーグ（A組）

ドリーマーズ	21－1	あやベランニング
あやベランニング	16－9	日吉丘LC
ドリーマーズ	20－4	日吉丘LC

［順位］①ドリーマーズ（2勝）
②あやベランニング（1勝1敗）
③日吉丘LC（2敗）

1次リーグ（B組）

ブルーマーズ	20－11	ドルフィン
神奈川ストリームA（神奈川県）	19－6	ドルフィン
神奈川ストリームA	16－9	ブルーマーズ

［順位］①神奈川ストリームA（2勝）
②ブルーマーズ（1勝1敗）
③ドルフィン（2敗）

1次リーグ（C組）

大阪ファインクライフ（大阪府）	15－10	小浜病院（福井県）
ハンドインハンド	14－10	小浜病院
大阪ファインクライフ	17－7	ハンドインハンド

［順位］①大阪ファインクライフ（2勝）
②ハンドインハンド（1勝1敗）
③小浜病院（2敗）

決勝リーグ

ドリーマーズ	14－4	神奈川ストリームA
大阪ファインクライフ	17－13	神奈川ストリームA
ドリーマーズ	24－12	大阪ファインクライフ

［最終順位］①ドリーマーズ（2勝）
②大阪ファインクライフ（1勝1敗）
③神奈川ストリームA（2敗）

＊ドリーマーズ（I部）は4連覇、通算5度目の優勝

II部



1回戦

神奈川ストリームB	9－2	林家一門

準決勝

笑福亭一門	9－7	サン・アビ城陽
神奈川ストリームB	11－1	呉竹

3位決定戦

サン・アビ城陽	11－1	呉竹

決勝戦

神奈川ストリームB	5－4	笑福亭一門

［最終順位］①神奈川ストリームB

②笑　福　亭　一　門

③サ　ン　・　ア　ビ　城　陽

＊神奈川ストリームＢ（II部）は初優勝、他府県の優勝は初めて

【総　評】

本年度は第13回大会を迎え、福井県、神奈川県に新しく大阪府の初出場を合わせた14チーム参加で熱戦を展開した。また、Ｉ部決勝リーグではこの３府県が残り、応援にも力が入り、ゲームが白熱した。優勝を飾った地元京都のドリーマーズは、第１回全国障害者スポーツ大会(みやぎ国体)の公開競技に採用された際、車椅子ハンドボール大会で準決勝まで進出しており、試合経験も豊富で難なく４連覇、通算５度目の優勝を成し遂げた。

決勝リーグでは大阪ファインクライフがドリーマーズに前半よく接戦で持ちこたえ食い下がったが、ドリーマーズのボールさばきと車輪の操作には１日の長がみられ、シュートに確実性があり、思わぬ点差に開いてしまった。初出場の大阪ファインクライフは、ソウルパラリンピック車椅子スラローム銅メダリスト岩崎剛氏（豊中市障害者福祉センター相談員）も加え、コーチ陣の熱声で盛り上げ２位を確保した。また、神奈川ストリームＡも今回初めて３位に入る健闘を見せ、研究のあとがみられた。同時に、II部でも神奈川ストリームＢが初優勝の栄光を勝ち得たのは立派であった。この日は丁度観光シーズン真最中の京都であり、車の移動等混雑する中でのご苦労を察する１日でもあった。

【車椅子ハンドボールニュース】

昨年10月26日(土)午後９時より土曜ワイド劇場のＡＢＣ朝日テレビ系列で「車椅子と辯護士」に車椅子障害者ハンドボールの放映があった。主役はオールドファンなじみの宇津井健氏。宇津井健氏が車椅子に乗りハンドボールゲームをされる一幕が映し出された。このメンバーは京都障害者スポーツ振興会が賛助出演（於東京）し、全国ネットワークで瞬時ではあったが、障害者車椅子ハンドボールの普及ＰＲができたことは喜ばしく、初めて取材されたＡＢＣ朝日テレビ系列の企画制作関係者一同に感謝を表する次第である。また、日本テレビ2003年24時間テレビの企画についての調査があったが、現在は回答待ちである。









第１回大阪車いすハンドボール大会

京都府ハンドボール協会副会長　小　西　博　喜

期日：平成14年11月2日(土)
会場：大阪府立障害者交流促進センター

▽予選Aリーグ

ファインクライフ	6－3	堺グランパス
堺グランパス	10－2	此花学院高
オアシス	16－8	ファインクライフ
ファインクライフ	14－5	此花学院高
オアシス	11－1	堺グランパス
オアシス	12－5	此花学院高

［順位］①オアシス（3勝）
②ファインクライフ（2勝1敗）
③堺グランパス（1勝2敗）
④此花学院高（3敗）

▽予選Bリーグ

ファインビスケッツ	8－3	和泉高
セント・アンドリュース	8－2	ファインビスケッツ
イオン軍団	17－3	ファインビスケッツ
セント・アンドリュース	6－2	和泉高
イオン軍団	10－2	セント・アンドリュース
イオン軍団	11－1	和泉高

［順位］①イオン軍団（3勝）
②セント・アンドリュース（2勝1敗）
③ファインビスケッツ（1勝2敗）
④和泉高（3敗）

▽順位決定戦

7・8位

此花学院高　4－1　和泉高

5・6位

堺グランパス　11－4　ファインビスケッツ

3・4位

ファインクライフ　7－3　セント・アンドリュース

1・2位

オアシス　11－10　イオン軍団

［最終順位］①オアシス
②イオン軍団
③ファインクライフ
④セント・アンドリュース
⑤堺グランパス
⑥ファインビスケッツ
⑦此花学院高
⑧和泉高

【講　評】

健常者と障害者のスポーツによる共生を目指し、若年者から高齢者までの参加者が集い、第１回大阪車いすハンドボール大会が８チーム参加し、開催された。

車いす操作技術の熟練者と未熟練者の経験の差はあるとしても、車輪を漕ぐ精一杯のダッシュプレーとパスコンビのプレーは好感を呼んだ。出場者の大半は健常者であったが、ふだん使用しない車いすだけにストップ、ダッシュターン等にはとまどう感じであった。それでも試合ごとにシュートしたはずみの衝突や、後進の転倒なども少なくなり練習の効果がうかがえた。全体に技術面ではＧＫの空間をねらう得点シュートは工夫のあとがみられ、拍手をうける場面も多かった。両サイドのパスを有効に使いながら、素早いバウンドシュートと低めをつく速いシュートが功を奏した。優勝したオアシスと準優勝のイオン軍団は優劣つけがたく、パスワークの攻防もインターセプトの連続で、伯仲したシーソーゲームを展開し、８－８の同点。さらにペナルティースローでも２－２と決まらず、サドンデスによるペナルティースローでオアシスが辛うじて11－10の１点差で逃げ切り初優勝を飾った。最後まで見応えのある試合で大喝采を浴びる熱戦となり、印象に残る好ゲームであったことを讃えたい。

スポーツ安全保険は
みんなの安心をお約束します。



5名以上の団体でご加入ください。

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等に最適な保険です。

加入区分	対象となる団体	対象となる事故の範囲	掛金（1人年額）	傷害保険 死亡	後遺障害（最高）	入院（日額）	通院（日額）	賠償責任保険（補償限度額）	共済見舞金
A	・子どもの団体（中学生以下） ・文化、ボランティア活動（高校生以上）	団体活動中とその往復中	450円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円（免責1,000円） 財物賠償 500万円（免責1,000円）	突然死（急性心不全、脳内出血等）140万円
B	老人クラブ団体		800円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		
C	成人のスポーツ団体（高校生以上）		1,400円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
D	山岳登はん アメリカンフットボール等		9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		
AW	子どもの団体（中学生以下）	団体活動中とその往復中	1,000円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算 1事故 500万円	
		団体活動中とその往復中以外		100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償合算 1事故 500万円（免責1,000円）	対象となりません

対象となる事故 ●グループ活動中の事故　●往復中の事故

保険期間 平成14年4月1日午前0時より翌年3月31日午後12時まで（申込受付は3月から）

あいおい損保　朝日火災　共栄火災　大同火災　東京海上
日動火災　日産火災　日新火災　ニッセイ同和損保　日本興亜損保
富士火災　三井住友海上　安田火災

保険については東京海上を幹事会社として、上記損害保険会社13社との共同保険となっております。（2002年4月1日現在予定）

お問い合わせ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-12-1

TEL 03-5510-0022
電話受付時間:午前10時～午後5時（土、日、祝日を除く。）

財団法人 スポーツ安全協会

ホームページアドレス http://www.sportsanzen.org

資料請求（発送センター）
※電話での対応はしておりません。

FAX専用フリーダイヤル **0120-104442**（自動受付）

「加入依頼書（都道府県別／30名まで記入可）」、「団体員名簿（60名まで記入可）」、「あらまし」、「事故通知はがき」、「（団体員配布用）しおり」のご請求の際、①資料内容（前記印刷物名）②必要部数③送付先の住所④氏名⑤電話番号をお書きのうえ、左記FAX番号宛お送り下さい。なお、発送には多少日数がかかる場合がありますので、ご了承ください。

ホームページ（http://www.sportsanzen.org）でも同様に受付しておりますので、ご利用下さい。

〈保険会社が経営破綻した場合の取扱いについて〉引受保険会社が経営破綻した場合には、保険金などお支払いする金額が削減されることがあります。この保険の傷害保険部分は損害保険契約者保護機構の補償対象となりますが、その場合であっても、全額が補償されるわけではありません。また、この保険の賠償責任保険部分（一部を除く）は損害保険契約者保護機構の補償対象ではありません。詳細につきましては、最寄りの東京海上までご照会下さい。なお、この保険の共済見舞金につきましては、保険会社の経営破綻にかかわらず、全額がスポーツ安全協会より支払われます。

アテネオリンピックアジア予選 2003年9月神戸にて開催

MEN'S
WOMEN'S
Qualifications for Athens 2004

HANDBALL

HYOGO KOBE

2003年9月23日 開催

大会告知ポスター

スペインリーグ（Division de Honor 'B'）での日本選手（加藤選手・内田選手）結果報告

※宮崎選手はケガの為、2003年1月10日頃まで、日本にてリハビリ治療

【加藤選手】4勝1分け8敗　14位（16チーム参加）

	試合日	得点	勝敗	会場	対戦チーム	加藤得点
1	9月21日	22－29	×	アウェー	ALGECIRAS BM	8
2	9月28日	26－26	△	ホーム	J.D.ARRATE	2
3	10月5日	22－19	○	ホーム	BM.AVECAR-ELDA C.E.E.	5
4	10月12日	20－33	×	アウェー	BM.PERSAN ROCHELAMBERT	10
5	10月19日	26－28	×	ホーム	JUVENTUD G.CANARIA	7
6	10月26日	20－25	×	アウェー	OCTAVIO PILOTES POSADA	2
7	11月2日	36－32	○	ホーム	R.G.C.COVADONGA	6
8	11月9日	19－31	×	アウェー	C.AMENABAR ZARAUTZ	10
9	11月16日	24－28	×	ホーム	CIUDAD DE ROQUETAS DE MAR	4
10	11月23日	29－31	×	アウェー	BM. INTERSA LEVANTE	11
11	11月30日	26－19	○	ホーム	ANAITASUNA	5
12	12月7日	25－31	×	アウェー	SUMMA HOTELES	6
13	12月14日	30－24	○	ホーム	UNIVERSIDAD DE GRANADA	6
					1試合平均得点：6．3点	82

【内田選手】5勝1分け7敗　12位（16チーム参加）

	試合日	得点	勝敗	会場	対戦チーム	内田得点
1	9月21日	25－29	×	アウェー	BM.INTERSA LEVANTE	全日本帯同
2	9月28日	30－24	○	ホーム	ANAITASUNA	全日本帯同
3	10月5日	24－22	○	アウェー	SUMMA HOTELES	全日本帯同
4	10月12日	16－20	×	ホーム	UNIVERSIDAD DE GRANADA	全日本帯同
5	10月19日	22－29	×	アウェー	P.R.A.S.A-POZOBLANCO	8
6	10月26日	25－22	○	ホーム	BM. TREYCAR-NARANCO	3
7	11月2日	17－26	×	アウェー	ALGECIRAS BM	3
8	11月9日	31－19	○	ホーム	ROTULOS PLASNEON ZARAGOZA	7
9	11月16日	24－20	○	アウェー	BM.AVECAR-ELDA C.E.E.	5
10	11月23日	23－31	×	ホーム	BM. PERSAN ROCHELAMBERT	3
11	11月30日	20－21	×	アウェー	JUVENTUD G.CANARIA	5
12	12月7日	25－26	×	ホーム	OCTAVIO PILOTES POSADA	13
13	12月14日	21－21	△	アウェー	R.G.C. COVADONGA	9
					1試合平均得点：6．2点	56

12月14日現在のスペインリーグ'B'の順位

順位	チーム	試合数	勝	分	負	ポイント
1	OCTAVIO PILOTES POSADA	13	10	1	2	21
2	BM.PERSAN ROCHELAMBERT	13	10	0	3	20
3	P.R.A.S.A.-POZOBLANCO／宮崎	13	8	1	4	17
4	J.D. ARRATE	13	7	3	3	17
5	SUMMA HOTELES	13	6	3	4	15
6	UNIVERSIDAD DE GRANADA	13	7	0	6	14
7	ALGECIRAS BM.	13	5	4	4	14
8	CIUDAD DE ROQUETAS DE MAR	13	7	0	6	14
9	R.G.C. COVADONGA	13	5	2	6	12
10	BM. INTERSA LEVANTE	13	6	0	7	12
11	BM. AVECAR-ELDA C.E.E.	13	5	2	6	12
12	C.AMENABAR ZARAUTZ／内田	13	5	1	7	11
13	JUVENTUD G.CANARIA	13	4	1	8	9
14	ROTULOS PLASNEON ZARAGOZA／加藤	13	4	1	8	9
15	BM. TREYCAR-NARANCO	13	2	2	9	6
16	ANAITASUNA	13	2	1	10	5

第18回男子世界選手権大会

ＩＨＦは開催地ポルトガル組織委員会と協力、2003年１月20日から２月２日の大会日程を承認した。

この大会に、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、パンアメリカから32名のレフェリーが指名された。以下の通り。

ドレイス、コフート	(CZE)	ボイェ、ジェンセン	(DEN)
アリ・ハッサン、セリム	(EGY)	ブレト・レオン、ウエリン・トリヨ	(ESP)
ボール、ビュイ	(FRA)	レンム、ウルリッヒ	(GER)
アーノルドソン、ヴィダルソン	(ISI)	カン・リム	(KOR)
アブデュル・フセイン、アブデュラ・ハイダー	(KUW)	M.ナチェフスキー、D.ナチェフスキー	(MKD)
バウム、ゴラルツィク	(POL)	グーラオ、マカオ	(POR)
ポゼズニク、レベンセク	(SLO)	ハンソン、オルソン	(SWE)
リュドウィク、ヴァクラ	(UKR)	アヌシク、ボイセン	(USA)

◎ＩＨＦ代表

Ｄｒ．ハッサン・ムスタファ（ＥＧＹ）
スタファン・ホルムクイスト（ＳＷＥ）
レイモンド・ハーン（ＦＲＡ）
ミゲル・ロカ（ＥＳＰ）
ピーター・ミュレマター（ＳＵＩ）

◎役　員

トール・リアン（ＮＯＲ）
キャルタイン・スタインバッハ（ＩＳＬ）
ナサー・ブ・マルズーク（ＫＵＷ）
カリン・ニルソン・グリーン（ＳＷＥ）
Ｄｒ．ジィス・ランゲボールト（ＮＥＤ）
マンスール・アレムー（ＢＥＮ）

テクニカルデレゲート

アレクサンダー・コズコフ	(RUS)	ペーター・シケルシュミット	(GER)
ラルス・エリク・クレム	(DEN)	ワルディル・フォンセカ	(BRA)
アレクサンダー・トンクール	(AUT)	クリスタ・アール	(USA)
フランティセク・タボルスキー	(CZE)	ジョゼフ・アンブルス	(SVK)
マンフレッド・プラウゼ	(GER)	ロジェ・オノー	(BEL)
ディートリッヒ・スペート	(GER)	ジャリル・ミルザ・アサド	(BRN)
ペーター・コバッチ	(HUN)	Ｄｒ.メダト・エルベタジ	(EGY)
サイド・ブアムラ	(ALG)	ハンス・ホルトハウス教授	(AUT)
Dr.フランソワ・グナミン	(CIV)	Dr.パトリシオ・ヴェネガス	(CHI)

◎ＩＨＦオフィス

フランク・ビルケフェルド（ＧＥＲ）
パトリック・ストラブ（ＧＥＲ）

過去のメダリスト

回	年	開催国	金	銀	銅
1	1938	GER	GER	AUT	SWE
2	1954	SWE	SWE	GER	TCH
3	1958	GDR	SWE	TCH	GER
4	1961	FRG	ROM	TCH	SWE
5	1964	TCH	ROM	SWE	TCH
6	1967	SWE	TCH	DEN	ROM
7	1970	FRA	ROM	GDR	YUG
8	1974	GDR	ROM	GDR	YUG
9	1978	DEN	FRG	URS	GDR
10	1982	FRG	URS	YUG	POL
11	1986	SUI	YUG	HUN	GDR
12	1990	TCH	SWE	URS	ROM
13	1993	SWE	RUS	FRA	SWE
14	1995	ISL	FRA	CRO	SWE
15	1997	JPN	RUS	SWE	FRA
16	1999	EGY	SWE	RUS	YUG
17	2001	FRA	FRA	SWE	YUG

女子ジュニア世界選手権はマケドニアで

マケドニアハンドボール協会が第14回女子ジュニア世界選手権(2003年８月３日から17日)のホスト国となる。ＩＨＦ評議員会がこの決定を下したのには明らかな理由がある。当初同大会はブラジル開催を予定していたが、ブラジルは男子ジュニア世界選手権を引き受けたため、他の開催国を選ぶ必要が出てきた。今回投票で旧ユーゴスラビア共和国のマケドニアに決定したが、マケドニアは2000年ＩＨＦ総会でも候補の一つではあったが、投票の結果ブラジルにわずか１票差で涙を飲んだ経緯がある。

下記の表からわかるように、アジア、アフリカ、パンアメリカからの参加チームはすでに決定している。ヨーロッパのチームが今春決まれば全チームが出揃う。

1	RUS	HUN	ヨーロッパ3	ヨーロッパ4
2	ヨーロッパ5	ヨーロッパ6	ヨーロッパ7	ヨーロッパ8
3	KOR	ヨーロッパ9	MKD(開催国)	ヨーロッパ10
4	ヨーロッパ11	ヨーロッパ12	CHN	JPN
+				
5	CGO	ANG	BRA	URU

男子ジュニアはブラジルで

当初男子ジュニア世界選手権は、アルジェリアで2003年8月24日から9月7日に開催予定であったが、ひどい自然災害に見舞われ、罹災者用にスポーツ施設やその他の施設を使うため、この夏の世界選手権の開催を返上せざるを得なくなった。ブラジルが同じくこの世界選手権開催を申請しており、代わって開催する事になった。有名なイグアス滝のふもとにある素晴らしい町、サンミゲル・ド・イグアスでこの大会は開催される。

1	POL	SLO	ヨーロッパ3	ヨーロッパ4
2	ヨーロッパ5	ヨーロッパ6	ヨーロッパ7	ヨーロッパ8
3	ヨーロッパ8	ヨーロッパ9	BRA(開催国)	EGY
4	ヨーロッパ10	ヨーロッパ11	ヨーロッパ12	KUW
+				
5	QAT	ALG	ARG	PUR

女子はクロアチアで

2003年女子世界選手権は、オランダでなくクロアチアで開催することになった。2000年ＩＨＦ総会で、この大会開催はオランダに授与されたが(クロアチアは投票で及ばず)、オランダ連盟はＩＨＦ評議員会の決定によるＩＨＦから割り当てられる金額が不満であるとして、同仲裁委員会に訴えを起こした。しかし、この訴えは拒否された。オランダはその後の訴えは起こしていない。両者は財務上の合意に達しなかったため、競争相手のクロアチアが開催することとなった。第17回女子世界選手権は、2003年11月30日から12月14日まで開催される。

1	RUS	ヨーロッパ1	ヨーロッパ2	ヨーロッパ3
2	ヨーロッパ4	ヨーロッパ5	ヨーロッパ6	ヨーロッパ7
3	ヨーロッパ8	ヨーロッパ9	CRO(開催国)	KAZ
4	ヨーロッパ10	ヨーロッパ11	ヨーロッパ12	KOR
+				
5	CHN	ANG	CIV	TUN
+				
6	パンアメリカ1	パンアメリカ2	パンアメリカ3	オセアニア

＊競技開催委員会の決定により、組合わせ抽選の基となる成績順枠は再構築された。１から３位の成績順枠は前回の世界選手権の結果によって以前のようにシードされた。４，５，６位の成績順枠（大陸のいわゆる出場枠）は、全体がプールされ、地理的条件を考慮して配分される。

⊙世界選手権の各大陸予選

女子ジュニア

第７回アジア女子ジュニア選手権

2002．７．９～15、アンマン(ＪＯＲ)

最終順位

１位：ＫＯＲ、２位：ＣＨＮ、３位：ＪＰＮ、
４位：ＴＰＥ、５位：ＪＯＲ

第12回女子ジュニアアフリカ選手権

2002．８．12～23、コトヌー(ＢＥＮ)

最終順位

１位：ＣＯＧ、２位：ＡＮＧ、３位：ＡＬＧ、
４位：ＴＵＮ

第４回女子ジュニアヨーロッパ選手権

2002．９．23～９．１、(ＦＩＮ)

最終順位

１位：ＲＵＳ、２位：ＨＵＮ、３位：ＥＳＰ、
４位：ＮＥＤ、５位：ＦＲＡ、６位：ＳＷＥ、
７位：ＲＯＭ、８位：ＳＬＯ、９位：ＰＯＬ、
10位：ＬＴＵ、11位：ＧＥＲ、12位：ＦＩＮ

第５回女子ジュニアパンアメリカ選手権

2002．８．21～25、サンベルナド・ド・カンボ（ＢＲＡ）

最終順位

１位：ＢＲＡ、２位：ＵＲＵ、３位：ＡＲＧ、
４位：ＣＡＮ、５位：ＵＳＡ

＊各国の略号は以下の通り

ＡＬＧ：アルジェリア
ＡＮＧ：アンゴラ
ＡＲＧ：アルゼンチン
ＡＵＴ：オーストリア
ＢＥＮ：ベニン
ＢＲＡ：ブラジル
ＢＲＮ：バーレーン
ＣＡＮ：カナダ
ＣＨＩ：チリ
ＣＨＮ：中国
ＣＩＶ：アイボリーコースト（コートジボワール）
ＣＲＯ：クロアチア
ＣＺＥ：チェコ共和国
ＤＥＮ：デンマーク
ＥＧＹ：エジプト
ＥＳＰ：スペイン
ＦＩＮ：フィンランド
ＦＲＡ：フランス
ＦＲＧ：西ドイツ
ＧＤＲ：東ドイツ
ＧＥＲ：ドイツ
ＨＵＮ：ハンガリー
ＩＳＬ：アイスランド
ＪＯＲ：ヨルダン
ＪＰＮ：日本
ＫＡＺ：カザフスタン
ＫＯＲ：韓国
ＫＵＷ：クウェート
ＬＴＵ：リトアニア
ＭＫＤ：マケドニア
ＮＥＤ：オランダ
ＮＯＲ：ノルウェー
ＰＯＬ：ポーランド
ＰＯＲ：ポルトガル
ＱＴＲ：カタール
ＲＯＭ：ルーマニア
ＲＵＳ：ロシア
ＳＬＯ：スロベニア
ＳＵＩ：スイス
ＳＷＥ：スウェーデン
ＴＣＨ：チェコスロバキア
ＴＰＥ：チャイニーズタイペイ
ＴＵＮ：チュニジア
ＵＫＲ：ウクライナ
ＵＲＵ：ウルグアイ
ＵＳＡ：アメリカ合衆国
ＹＵＧ：ユーゴスラビア

協会だより

平成14年度 10月常務理事会

日　時　平成14年10月27日（日）
　　　　11：45～15：20
場　所　高知女子大学池キャンパス
　　　　体育館会議室
出席者　山下副会長、大西専務理事
　　　　常務理事９名、監事２名
　　　　参事３名

会議に先立ち、高知県ハンドボール協会会長片岡修一氏より、国体のお礼と天覧試合後の天皇陛下よりお言葉を受けたことの報告があった。

ナショナル男女チーム監督よりの報告があった。

審議事項

1．平成14年度第２次補正予算

資料に基づき第２次補正予算について詳細に説明がなされた。

2．平成15年度NTS経費のスポーツ振興くじへの助成申請と問題点

NTSセンタートレーニング選考選手数とU－19・16選考合宿数の概算数が判らないと申請書が作成できないとのことで、決定が依頼された。

U―19・16選考人数は、強化委員会で関係者と協議しておく。

3．アテネオリンピックアジア予選準備委員会

９月21日に準備委員会を行い、資料のように遂行する。

4．全日本総合大会要項・出場枠

大会要項の修正、審判会議・代表者会議・開始式は12月10日午前中に行う。

組合わせについては、承認済み。日本協会推薦チームは、ＪＨＬ３チーム、ジャパンオープン３位を予定。女子では、今国体結果を踏まえた上で決定。

放映時解説者について説明。

5．クラブ連盟

大会システムの構築を最優先していく。連盟構築は急がず整備していく。

6．2009年新潟国体夏季大会

新潟県が夏季大会移行を希望している。

7．奨学生の件

奨学生制度の公の認識があるのかとの意見があり、今後規程を学連に流し、募集、面接などの手続をしっかりした上で決定していく。

8．平成15年度機関誌計画について

機関誌発行回数を、年10回、24ページにする。委員会議事録を掲載するので担当者は掲載用議事録を速やかに提出する。

9．東アジア連盟（EAHF）の発足について

東アジアの結束、東アジアクラブ選手権の開催、ジュニアの育成、コーチレフェリーシンポジウム等の開催。役員は３国（日・中・韓）で持ち回りとする。

東アジア連盟発足を決議。

報告事項

10．アジア競技大会報告

11．ブロックトレーニング報告

12．小・中学生委員会報告

東・西小学生大会は、それぞれ東

北ブロック大会、中国ブロック大会へ移行していく。

13．審判部報告

競技規則解釈について、ＩＨＦより回答があった。

公認Ａ・Ｂ級審査結果、レフェリーコース状況、全日本総合審判員

14．日本リーグ日程

15．サポート会員数現況

16．toto平成15年度申請説明会について

17．日本協会キャラクターの提案

平成14年度
第２回全国理事会

日　時　平成14年11月９日（土）
13：00～16：00
場　所　明治神宮会館 特別会議室
出席者　山下副会長、大西専務理事
常務理事９名、理事４名
理事代理１名、参事４名
監事３名

審議事項

1．平成14年度第二次補正予算承認の件

平成14年度第二次補正予算について説明がなされ、承認された。

2．スポーツ弁当の件

今後の日本協会運営資金確保のためにもスポーツ弁当を売る必要がある。サークルＫ＆サンクスのコンビニで直接弁当を買っても協賛金にはつながらない。弁当については全く別会社である。

弁当発注の際、もし地方で特定の業者を使いたい場合には、その業者をときめきドットコムの指定業者にすればよい。指定業者にする場合には日本協会を通してトキメキドットコムに連絡する。

以上スポーツ弁当の件について、承認された。

3．プロジェクト21

今後のハンドボール界を考える際に、今から10年後を見据えて構想を立てる必要がある。小学生3000チーム、中学生2000チームを地域のクラブチームとして育てていかなければならない。来年度を小学生チームの育成元年にする。プロジェクト21の件については承認された。

4．アテネオリンピックアジア予選準備委員会

2003年９月に神戸でアテネオリンピックアジア予選をおこなう。大会にあたっては大会組織を作り、兵庫県実行委員会と協力して運営にあたる。兵庫県実行委員会の立ち上げは11月22日とする。兵庫県からチーム付きの日本リーグチーム委員設置の要請がなされ、検討をする。理事、参事の皆様にもご協力をする。大枠予算としては、1億800～6000万円位を見積もっている。

アテネオリンピックアジア予選準備委員会の件について承認された。

5．クラブ連盟構想

実業団連盟と教職員連盟を今すぐ一本化することはせず、当面、大会システムで対応したい。今後は年齢別の大会をもうけていき、当面ジャパンオープン委員会を作り、U－12、U－15、U－18の大会を実施する。

クラブ連盟構想については承認された。

6．東アジア連盟について

役員を推薦。

7．がんばれ10万人会サポート会

がんばれ10万人会が発足して３年目になるが、サポート会員募集推進にもかかわらず現在会員数が減少している状況である。今後の改善策を推進本部長に一任し、12月に改善案を提出してもらう。

報告事項

1．全日本総合選手権大会

参加チームは男子16、女子12チームでおこなう。抽選会は11月11日18時よりおこなう。

2．国体報告

「よさこい国体」の報告がなされた。

3．アジア大会

男女共に４位で、メダルが取れず反省している。

4．日本リーグ

今年度男子は３試合とし、ナショナルチームの強化に繋げていきたい。

◆学連のＯＢ名簿の提出については早急に対応する。

◆高体連より、夏のインターハイのお礼が述べられた。今年度、選抜大会は富山県氷見市で行われ、次回から３回は関東、平成15年神奈川、16年茨城、17年東京で行われる。

◆教職員連盟より、昨年をもって教職員大会に終止符を打ったこと、本年よりマスターズ大会一本に絞り、大会は順位決定をするものと交流の二本立てとしたこと、30代の教職員の大会開催が要望されていることが述べられた。

◆実業団連盟では、来年度は神戸でオリンピック予選が行われるため選手権を６月末か、７月に行いたい。場所については未定。現在はクラブチームも加盟しているので名称についても検討中である。

◆秋の叙勲において日本協会推薦で越智武氏（愛媛県）が勲四等瑞宝章を叙勲された。

✢ ANA CUP　第27回日本ハンドボールリーグプレーオフ ✢

【日　程】

平成15年3月21日(金)　17：00　女子準決勝
平成15年3月22日(土)　14：00　男子準決勝
　　　　　　　　　　　16：00　女子決勝
平成15年3月23日(日)　14：00　男子決勝

【会　場】

駒沢体育館（東京）
東京都世田谷区駒沢公園1－1　TEL 03-3421-6121
最寄駅：東急田園都市線駒沢大学駅　徒歩15分

ご来場いただいた方の中から
抽選で、グッズが当たります。

【入場券】

チケットぴあで2月1日(土)より前売券を発売します。

	前　売　券	当　日　券
一　　般	1,700円	2,000円
ペ　　ア	3,000円	（前売券のみ）
大　学　生	1,000円	1,300円
中　高　生	800円	1,000円
中高生5名	3,000円	（前売券のみ）

【問い合わせ先】　日本ハンドボールリーグ委員会事務局
TEL　03－3481－2494

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」11・12月入会・継続会員

■11月会員【岩手】大越規雄、箱崎敬吉**【栃木】**坂本　定芳**【埼玉】**岡村昭二、符金誠示**【東京】**佐藤俊男、佐藤映子、蒲生澄子、川上整司、萩原一次、堀江成典、藤原侑**【神奈川】**中丸英一**【長野】**服部博幸、青木　崇**【新潟】**庭山政幸**【富山】**高林　史、吉水慎一**【福井】**北陸電力ハンドボール部山崎信晴、北陸電力ハンドボール部齊藤隆教、北陸電力ハンドボール部佐々木静夫、北陸電力ハンドボール部角谷喜代重**【静岡】**久保田妙子、戸塚千津**【愛知】**冨田寛治、野田　清**【三重】**大石博義、大石道子、細野秀男**【岐阜】**杉山二女代**【京都】**守本幸三郎、藤本章子**【広島】**加藤恵誠、樋野村　勉、松本昌之**【香川】**末澤光夫**【愛媛】**越智　誠、越智理佳、越智裕介、越智皓平、越智聡郎、柳原　豊、柳原　奨、柳原真弓、加藤誠一**【福岡】**松本浩志、宮内貴博、新荘加代子**【佐賀】**柳本英雄**【熊本】**藤田八郎**【宮崎】**佐藤和好

■12月会員【岩手】高橋　真**【福島】**宗形守敏、二瓶由美子、矢吹奈津美、蛭田祐子、佐藤　浩、武藤友美**【埼玉】**木本良一**【千葉】**仲田　稔、窪田　優**【東京】**田村公孝、岡前義春、浜田浩和、三浦丈治、渡邊佳英**【神奈川】**木本一成、稲葉鋭夫、加古川正巳**【富山】**永田義邦、徳前美智子**【石川】**伊藤義直**【愛知】**太田耕治、間瀬和義**【岐阜】**堀　直行、鈴木義久、森正樹、永田雅和、草川信哉、木下憲司、橋本　勝**【滋賀】**高畠典克**【大阪】**平田光徳**【兵庫】**村上　潔、加藤　淳**【鳥取】**萬　隆志**【広島】**白石　隆、清田憲男**【山口】**中畠昭義**【愛媛】**井　浩二、東福拓朗、東福康浩、東福浩太朗、柳原　勉、平井　貢**【熊本】**高島協助

【2月の行事予定】

★大会

第9回西日本小学生ハンドボール交流大会／
　1日(土)～2日(日)　岡山県
全日本実業団チャレンジ2003／14日(金)～16日(日)

★会議

常務理事会：9日(土)／午前（東京）
第3回理事会：9日(土)／午後（東京）
第2回評議員会：22日(土)／（東京）
事務取扱責任者会議：23日(日)／（東京）

訂正とお詫び

12月号23ページの第17回男子世界学生選手権大会参加選手団の記載に一部誤りがありました。
　以下のように訂正させて頂きます。

背番号8の河瀬選手の出身高等学校
誤「四日市中央工業高」→正「四日市工業高校」

HAND BALL CONTENTS Feb

（登録チームの購読料は登録料に含む）

2002コートの主役



PKCH3-AD ¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用 
天然皮革

PKCH2-AD ¥4,500 パ

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革



MIKASA
株式会社 ミカサ

What do you see?

透き通った葉の向こうに
「ITOCHU」が見えますか？
私たちは、
企業としての透明性を大切にしています。



伊藤忠商事株式会社
http://www.itochu.co.jp

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四三七号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十五年一月二十六日印刷 平成十五年二月一日発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 ○○二○—七—○二九三
編集兼発行人 大西武三
定価 年間三三○○円